

じ得ざるは明かにして而も米國禁輸鐵の問題未だ解決せられず從て現在造船計畫の遂行に付き甚しき悲觀說を稱ふるものあり。然れ共吾人の見を以てすれば現時造船材料供給の問題は左迄悲觀を要せざるべく勿論多少の進水遅延は免れざるべしと雖も結局自給力の増大と他に輸入の途生じ現在の計畫を遂行するに妨げなきに至るべし今之に關する詳論を省くも兎に角本邦現下の造船能力は最大五十萬噸實數三十萬噸内外と結論するを憚らず而して現在の建造中のもの及び計畫中に屬する一九〇隻九十五萬四千八百八十五噸は少くとも大正八年末迄に建造せらるべく其内假りに三割を輸出し四分の滅失あるものとするも六十二萬二百二十四噸は本邦商船として新に増加するものと見ざるべからず。

第五 陸上技術員として船員の需要高

陸上に於て海上技術者(主として海技免狀受有者)を必要とするは

- (一)官公署 (二)船舶會社 (三)海運業及び海事關係會社 (四)商船學校 (五)各船舶會社の豫備員等を主とす。以下少しく是等の内容に付大體の數字を求めむとす。

(一)官公署

海技員を要する官公署は主として逓信省所管の事務にして其の以外に於ては港灣を有する地方公共團體なりとす此外農商務省、大藏省、内務省等も各々船舶を所有し海技員を要すと雖も是等の多くは各所屬船舶に乘組み運航に従事する者なるを以て之は船舶會社中に計上し茲には含ましめざるものとす。今以上の

標準に依り不完全ながら之が要員を推算するに左の如し。

(第十二表)

公務署名	員數	一箇所に付所要員數	計	公務署名	員數	一箇所に付所要員數	計
逓信本省	一	一〇	一〇	朝鮮海軍出張所	六	二	一二
逓信局海事部	五	平均六	三〇	臺灣總督府海軍課	一	二	二
海事部出張所	四	一	四	海軍省海軍課	一	二	二
軟路標識管理所	一	四	四	府縣廳港務課	五	三	一五
朝鮮總督府海事課	一	六	六	其他		二	二
合計			六六	合計	三五		二七

備考 此外海員官制所あれども其職員の多くは同一官吏の兼任なるを以て之を略し尙官立商船學校に付ては學校職員として別に之を計上せり

(二)船舶會社

本邦船舶所有者の總數は約二百に達すべしと雖も其重なるものは百五十を出でず。左表は本年九月末日現在に付逓信省の調査せる所に依り作製したるものなるが之には現在總噸數一千噸以上の汽船所有者を網羅し内地及各植民地を含む從つて之を以て本邦代表的船主の總てと稱するを憚らず少くとも本論の範圍に於ては十分なるべし。而して表中所要員數と云へるは是等の船舶所有者が監督其他の名義にて陸上の機關として雇用し若は雇用すべき員數を揚げたるものにて固より之に定數あるに非ず唯其大體の標準を示すのみ